

単元名 生き物の1年

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 1年間の生き物の成長や活動と季節との関係を理解するとともに、これまでに調べてきた植物の成長や動物の活動について整理し、得られた結果を分かりやすく記録することができる。
- (2) 1年間の生き物の成長や活動について、主に既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決することができる。
- (3) 1年間の生き物の成長や活動について、進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

04050305_001

【準備等】1年間の観察記録

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 これまで調べてきた生き物の様子について、1年を振り返りながらまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年を通して調べてきた生き物について振り返り、発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・春はサクラがきれいに咲いていた。 ・ヘチマは、春から夏にかけて、茎を伸ばして大きくなった。 ・ヘチマは、秋から冬にかけて、茎は伸びず、葉や実が枯れていった。 ・ツバメが子育てしているところを観察した。 ・秋にカモがやってきた。 ・冬は生き物が少なかった。 ★季節によって、植物や動物の様子は、どのように変わってきただろうか。 ○ 今まで調べてきた生き物の成長や活動をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ＜植物＞ <ul style="list-style-type: none"> ・気温が上がる頃には、枝や茎を伸ばして、葉を茂らせる。 ・気温が下がる頃には、葉を落としたり、種を残して枯れたりする。 ＜動物＞ <ul style="list-style-type: none"> ・暑い季節には、見られる数や種類が多くなる。 ・寒い季節には、冬越しをして姿があまり見られなくなる。 ○ 分かったことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・植物は、気温が上がる春から夏にかけて、枝や茎を伸ばし、葉を茂らせる。 ・植物は、気温が下がる秋から冬にかけて、葉を落としたり枯れたりする。 ・動物は、暑い季節には見られる数や種類が多く、寒い季節にはあまり見られない。 ・季節は、春夏秋冬を繰り返していて、季節ごとに、植物や動物の様子が変わる。 <p>3 単元のまとめをする。</p> <p>★単元のふり返りをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たしかめ」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化と気温を関係付けて、まとめることができるようにさせる。 ・1年間通して行った観察活動を想起させ、充実感を味わわせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.226～227を参考に、生き物の種類ごとに、季節別に記録を並べるとよい。 ・魚類や両生類は季節による水温の変化によって活動の様子などに違いがあることに触れる <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の生命がつながっていることも確認させる。 <p>【評】生き物の変化を話し合い、まとめる活動を通して、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【備 考】

- ・1年を通じて動物の活動や植物の成長をそれぞれ2種類以上観察するものとする。

<関連>

- ・第3学年「生き物を調べよう」「植物を育てよう」「チョウを育てよう」「こん虫の世界」
- ・第5学年「植物の発芽や成長」「メダカのたんじょう」「花から実へ」